

▼社会経済常任委員会

視察日

平成29年2月7～8日

視察先

①石川県能美市のしみ

(株) 中東

集成材事業部

②石川県小松市

(株) 小松製作所

粟津工場

視察目的 C L T 製造

施設視察とC L T 建造物等視察

《C L T 製造施設》

(株) 中東は、昭和

43年設立、社員数60人の規模で、国内外に広く構造用集成材の製造・販売などの事業を展開している企業であり、主な実績として、金沢駅東口のシンボルとしても有名な「鼓門」の建設に携わっている。群馬県においては、草津温泉湯畑前の共同入浴施設「御座之湯」、藤岡市鬼石の多目的ホール等を



(株) 中東の作業風景

手掛けている。本社工場内に、昨年1月に完成したばかりのC L T 製造棟があり、同年9月に国内6例目となるC L T のJ A S 規格(日本農林規格)認定を取得している。

この工場の大きな特徴として、国内初となるC L T と集成材の混成ラインが導入され、同一プレスラインによる両素材の生産

を可能としており、集成材が月産600立方メートル、C L T が月産300立方メートルの生産を可能としている。

工場内にはC L T で製作された見学台が設置されており、※ラミナーの投入から接着剤の塗布、積層、接着に至る製造ライン一連の作業状況をつぶさに見て取る事ができた。

また、国内のC L T 情勢は、欧米各国に比べ15年程度遅れており、海外では大型商業施設やホテル等への利用により年間約65万立方メートルのC L T パネルが製造されているが、国内では年間約5千立方メートルの生産に留まる状況との説明を受けた。

《C L T 建造物》

(株) 小松製作所粟津工場は、昨年5月に竣工した社員食堂を視察したが、この新食堂のテラス部に北陸地方初となるC L T 材が用いられており、地元林業活性化支援策の一つとして、地場産材である「かが杉」を活用したC L T 工法を試験的に取り入れ、需要拡大の契機となる事を期待していると説明があった。

また、(株) 小松製作所粟津工場は、従業員2700人の規模を

誇り、技術者の中にはバイオマス関連に対応できる者も数多くいるとの説明を受けた。工場内で利用する「動力・電力・空調」設備へ、バイオマスボイラーで発生するエネルギーを無駄なく活用しており、同等のエネルギーを全て電力購入により賄った場合と比較して、その費用対効果があると説明を受けた。

しかし、昨年5月に竣工したC L T 材を活用した、社員食堂を見学した際、外壁のテラス部分に使用した、C L T 材に日照や風雨の影響による「劣化」「変色」等が確認された。このことから、下仁田道の駅再整備計画に係る外壁等C L T 材の使用については一考をお願いしたい。

(委員長 木暮弘元)



C L T を活用した社員食堂